

言問い(こととい)：50周年記念植樹イチイに命名されたものです。

令和6年度 西春別中学校 第3号

こととい

令和6年5月31日 発行

＜ 校 訓 ＞  
自主 友愛 有能

＜ めざす生徒像 ＞  
・自ら学び考える生徒 ・心と体を鍛える生徒  
・協働する生徒 ・郷土を愛する生徒

発行責任者 校長 綾野 正巳

## 嫌いなものを 好きになる方法？！

西春別中学校長 綾野 正巳

連日、大谷翔平選手の活躍がメディアで取り上げられ、私もニュースやネットで確認するのが日課となっているのですが、数年前までは、イチロー選手以上にメジャーリーグで記録を更新したり、活躍したりする選手は私が生きている間には出てこないだろう、と勝手に思い込んでいました。そのくらいイチロー選手の登場は衝撃的でした。

そんな一流アスリートであるイチロー選手がSMBC日興証券の主催する「教えてイチロー先生」という企画に登場したときのお話を子ども達に全校集会で紹介しました。イチロー選手が学校の先生に扮し、生徒役の方のいろいろな質問に答えていく内容なのですが、

小学生に、

「算数が嫌いなんです、嫌いなものを好きになる方法を教えてください」と問われたイチロー選手は、「無理！」と即答したそうです。

「算数が嫌いなんです、  
**嫌いなものを好きになる方法を教えてください**」

**「無理！」**  
**「嫌いなんだもん無理っしょ」**

「例えば、嫌いなトレーニングとかなかったですか」  
「それは、ずっと嫌いでやらなかった。本当にやらなかった」  
**「嫌いなものに耐える能力は全然無いんですよ」**  
苦手でもやらなければならない時、どうする？  
苦手なトレーニングは自分が好きなようにアレンジしていたという。  
「しんどいけれど、これならできるというメニューに変えてしまう」ことで継続していた

**「嫌いを好きにするというより、  
苦手をできるように克服する」と良い**

嫌い ✕ 好き

嫌い ⇒ 苦手 **発想の転換**

苦手 ⇒ **少しずつ克服できる**  
**考え方しだい**

生徒達へは、スライドを使いながら説明しました。これから生きていくうえで、様々な場面において、「苦手と感じていてもやらなくてはならないこと」はたくさんあると思います。そのような時は、苦手を無理に好きになろうとするのではなく、苦手を克服するアプローチを自分なりに考えて試してみることが大切ではないでしょうか。

この発想は、人間関係の構築にもあてはまります。「あの人嫌い！」とってしまったらは何も改善されません。「あの人苦手だな」くらいの意識にしておくの良いのだと思います。考え方を変わると、「苦手だけど、必ずしも嫌いではない」「苦手だけど、時々良い所もある」「苦手だけど、接し方を変えて付き合ってみよう」という前向きな発想がでてきます。

本校で目指している「自ら学び考える生徒」「様々な人と協働する生徒」「強い心と体を鍛える生徒」を育成するためにも、生徒達ひとり一人の苦手を少しでも克服できるようにサポートしていきます。